

# 盛岡市 道の駅 設置事業概要

平成30年11月27日 第2回 もりおかPPPプラットフォーム資料

盛岡市 玉山総合事務所

# 本日の説明内容

- 1 道の駅の制度, 全国・県内の状況等
- 2 盛岡市「道の駅設置計画」の経緯・予定地
- 3 盛岡市「道の駅」の目的・方向性・コンセプト
- 4 盛岡市「道の駅」の整備方針等
- 5 配置計画・概算事業費等
- 6 事業手法・運営主体等

# 1. 道の駅について（1）

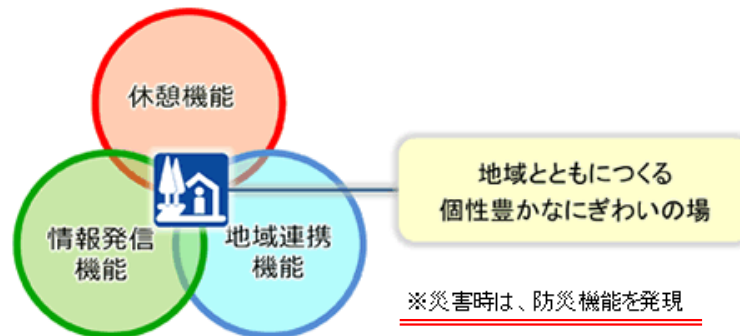
## 1 目的

- ① 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ② 地域の振興に寄与

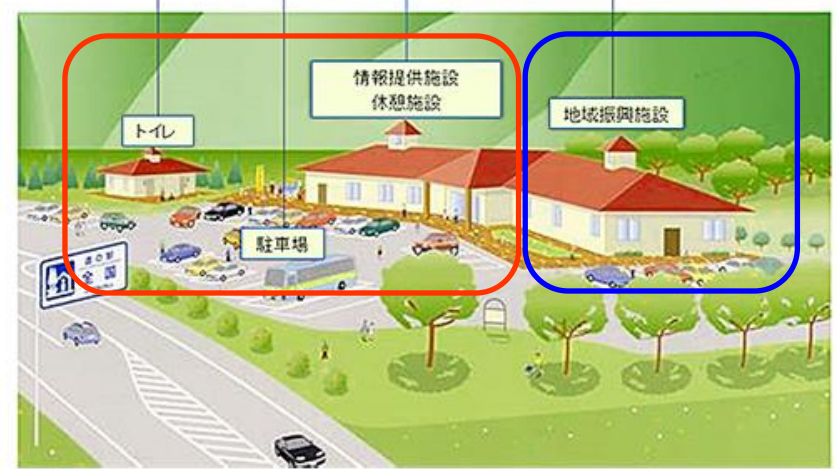


## 2 基本コンセプト

- 休憩機能** ・ 24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- 情報発信機能** ・ 道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域連携機能** ・ 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設



- 駐車場、トイレ、情報提供施設、休憩施設**  
※道路管理者又は市町村等で整備
- 地域振興施設**  
(文化教養施設、観光レクリエーション施設など)  
※市町村等が整備



引用元：国土交通省ホームページ

## 2. 道の駅について (2)

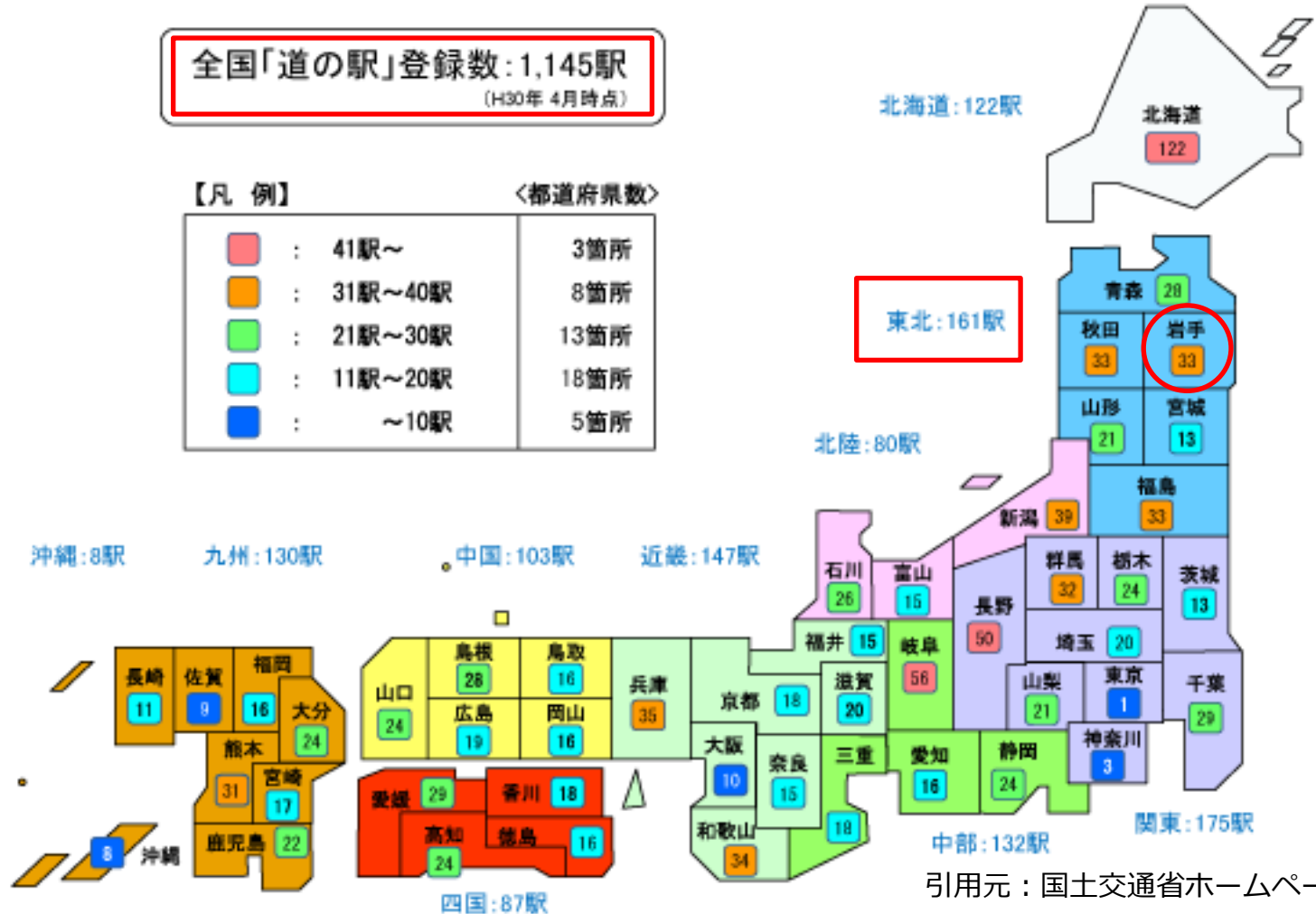
### 3 全国の設置状況

全国「道の駅」登録数: 1,145 駅  
(H30年 4月時点)

【凡例】

<都道府県数>

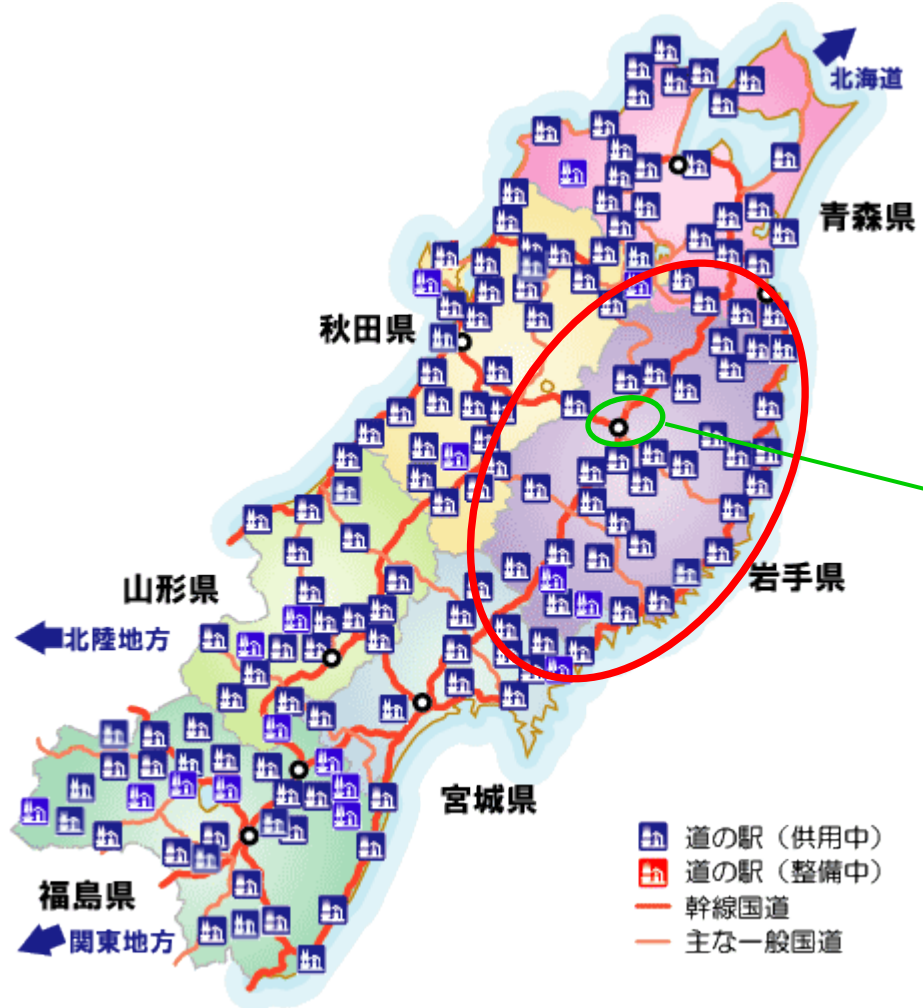
■ (赤)	: 41駅~	3箇所
■ (オレンジ)	: 31駅~40駅	8箇所
■ (緑)	: 21駅~30駅	13箇所
■ (青)	: 11駅~20駅	18箇所
■ (黄)	: ~10駅	5箇所



引用元: 国土交通省ホームページ

# 3. 道の駅について (3)

## 4 岩手県内の設置状況



岩手県内 33 駅

【近年の開業等】

- 2018年4月 一関市 むろね
- 2018年4月 宮古市 たろう (移転整備)
- 2017年4月 平泉町 平泉
- 2015年4月 釜石市 仙人峠

盛岡市は未設置

県内 33 市町村中 23 市町村が設置済み

- 道の駅 (供用中)
- 道の駅 (整備中)
- 幹線国道
- 主な一般国道

引用元：国土交通省ホームページ

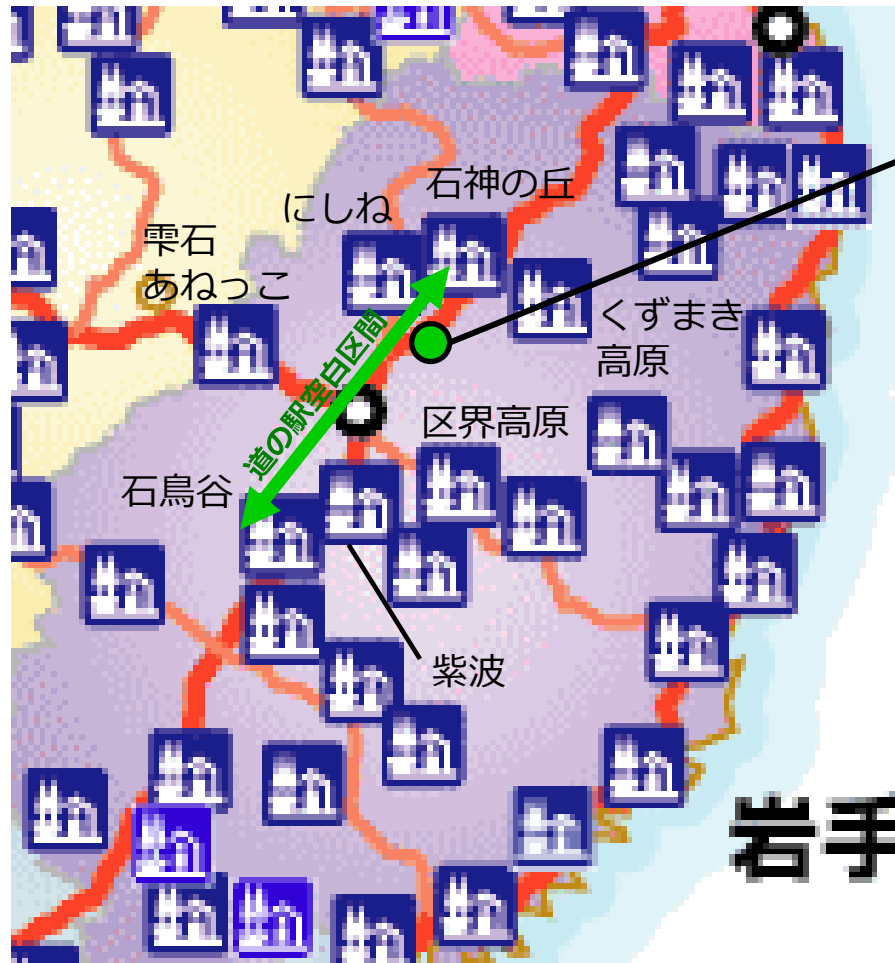
## 4. 盛岡市「道の駅」計画の経緯

### 経緯

- ・平成5年度 国道4号渋民バイパス整備計画に合わせ、旧玉山村において事業計画立案
- ・平成7年度 国の道路用地取得と合わせて事業用地を取得  
国約7,000㎡、村約5,900㎡（計約12,900㎡）
- ・平成27年4月 国道4号渋民バイパス全線開通
- ・平成27年度 基本構想作成
- ・平成28～30年度 住民懇談会・ワークショップ・利用者調査・整備方針検討会等を開催し基本計画(案)作成

# 5. 盛岡市「道の駅」事業予定地（1）

## 1 道の駅設置予定地の位置



### 【事業予定地】

- ・盛岡市渋民字渋民地内
- ・国道4号渋民バイパス沿い
- ・石川啄木記念館近く

### 【周辺状況】

- ・国道4号 約63kmの「道の駅空白区間」への整備
- 道の駅「石神の丘」(約16km北)
- 道の駅「石鳥谷」(約47km南)

## 6. 盛岡市「道の駅」事業予定地（2）

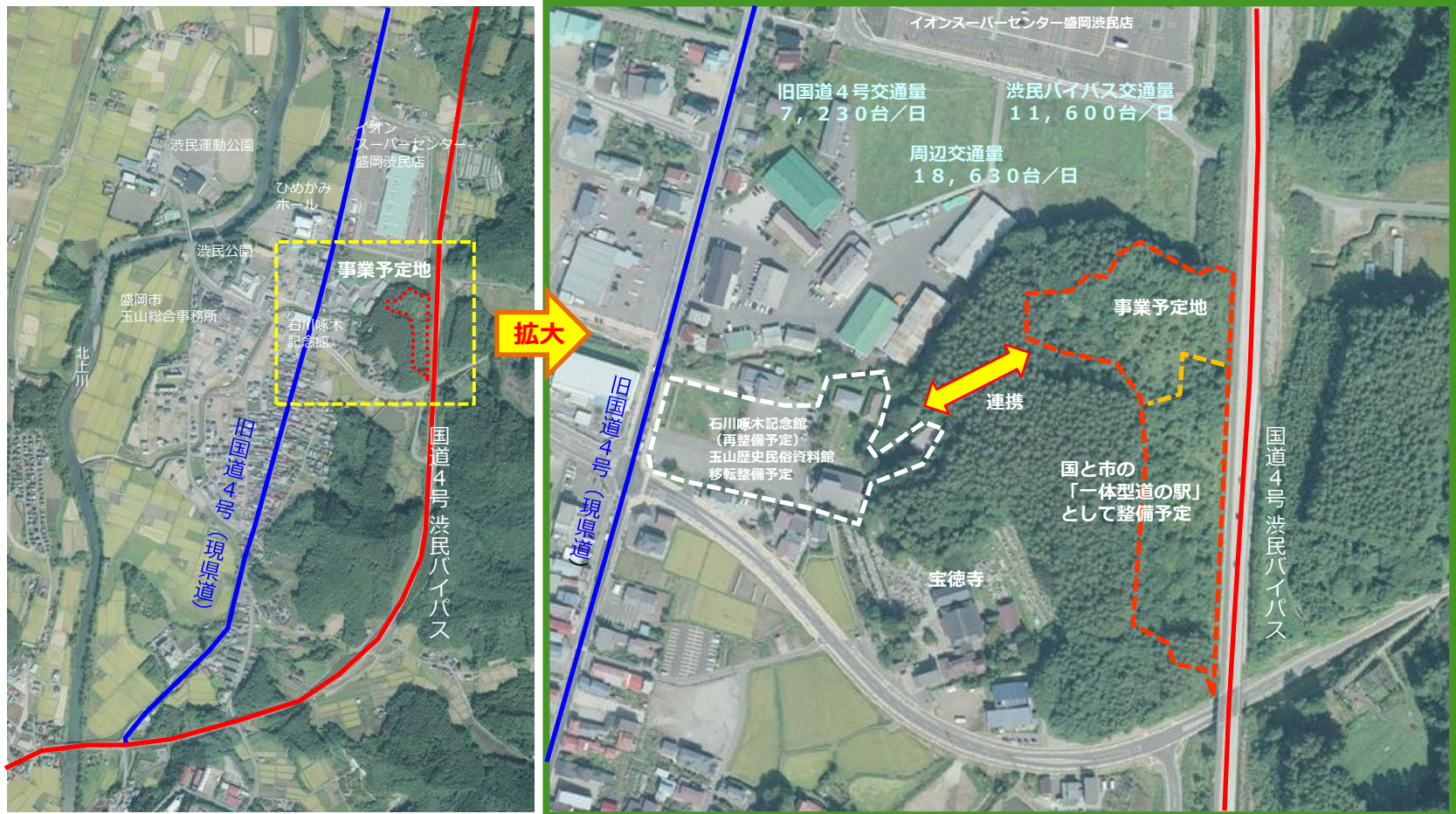
### 2 道の駅設置予定地の位置





# 7. 盛岡市「道の駅」事業予定地（3）

## 3 道の駅設置予定地の位置



地理院地図（国土地理院）を利用

## 8. 盛岡市「道の駅」事業予定地（4）

### 4 道の駅設置予定地からの眺望（岩手山）

岩手山



## 9. 盛岡市「道の駅」事業予定地（5）

### 5 道の駅設置予定地からの眺望（姫神山）



## 10. 盛岡市「道の駅」事業予定地（6）

### 6 道の駅設置予定地の場所

- ・ 事業予定地を調べたい場合,

3つの単語で地図上の位置を表すサービス

「**What3words** <http://what3words.com>」では,  
事業予定地は次の様になります。

「**///おでかけ・はれま・きやすい**」

(///は, 同サービスの位置表示記号)

# 11. 盛岡市「道の駅」事業予定地（7）

## 7 事業予定地の目印（現地に行ってみみたい場合）



## 12. 盛岡市「道の駅」の目的

### 1 地域の現状・道の駅の機能

- ・若者の流出，少子高齢・人口減少の進行，厳しい経済環境など地域の将来が見通しにくい状況が続いています。
- ・全国に1,100以上もの道の駅が整備され，**地域振興，経済の活性化に一定の効果**をあげています。

### 2 道の駅の目的

- ・国道4号渋民バイパスが全線開通した今，道の駅の持つ機能を活用し，地域課題に対応しながら，

**－ 将来にわたり持続可能な地域を創る －**

これが，当市の“道の駅”の目的と考えています。

# 13. 盛岡市「道の駅」の方向性

## 1 道路利用者の安全で快適な通行に貢献する

～北の玄関口として、多くの人に、おもてなしの心、安らぎとくつろぎ、疲れを癒すことのできる時間と空間を提供し、安全で快適な通行に貢献～

## 2 地域経済の振興に寄与する

～食べ物、伝統文化、眺望などの資源を発掘し、磨き上げ、活用し、起業の創出・地域ビジネス育成、雇用創出などで地域経済の振興に寄与～

## 3 次代を担う人材を育てる

～様々な人の挑戦を支援し、将来のまちづくりを担う人材の育成を図る～  
- 「チャレンジショップ」、 「伝統芸能発表の場」 など -

## 4 元気な地域をつくる

～老若男女が集まり交流し活躍し、賑わいと活気のある空間とし、地域文化発信、産業・経済の振興を図り、元気な地域をつくる～

## 5 世界に向けて「盛岡・玉山」を発信する

～道の駅から、盛岡・玉山の素顔を世界に発信する。“おもてなしの心”、“多様な文化”、“自然の魅力”等を伝え「世界につながるまち盛岡」をつくる～

## 14. 基本コンセプト

### 【道の駅の基本コンセプト】

道の駅の目的は「将来にわたり持続可能な地域を創る」こと。

「道の駅ありき」や「ハコモノ整備」が目的でもありません。

**道の駅は、未来を創る手段・ツールであり、ステージ(舞台)です。**

その想いを込めて、基本コンセプトを次のとおりとしました。

### 【基本コンセプト】

「道の駅は、

私たちの未来を創る<sup>ゆめ</sup>希望のステージ」

～石川啄木が愛した盛岡・玉山を感じられる道の駅～



# 15. 整備の基本方針

## 1 安らぎ、くつろぎ、リフレッシュできる道の駅

～ “自然景観”， “魅力”， “おもてなしの心” を満喫し， 疲れを癒し， 活力を回復できる道の駅 ～

## 2 より多くの人を訪れる， 訪れたくなる道の駅

～ 地域の人も含め多くの人が集まりたくなる， 何度でも訪れたくなる道の駅 ～

## 3 石川啄木を感じられる道の駅

～ 石川啄木記念館， 旧齊藤家等も含め， 石川啄木を感じられる道の駅 ～

## 4 様々な人が活躍できる道の駅

～ 女性， 高齢者， 障がい者等様々な人が活躍できる道の駅 ～

## 5 市民が主役の道の駅

～ 市民が主体となって， 魅力を創り進化する道の駅 ～

## 6 自立・持続経営可能な道の駅

～ 持続した経営が可能となる道の駅 ～

## 16. 「道の駅」を取り巻く外部環境

### 1 前面交通量 1日当たり 11,600台

再掲

- ・県内でも有数の交通量  
(旧道7,230台を合わせると周辺交通量は18,830台/日)

※H27.4 国土交通省調査

### 2 道の駅空白エリア 南47km, 北16km

再掲

- ・国道4号, 道の駅石鳥谷(花巻市)~道の駅石神(岩手町)間の約63km間は「道の駅」の無い空白エリア

### 3 近隣道の駅 車で 1~2時間の範囲に約40箇所

- ・市場は飽和状態

### 4 その他

- ・盛岡には自動車利用者向けの観光案内施設がない  
(玉山地域には案内施設なし)
- ・玉山地域には土産物等が少ない

# 17. 道の駅に関するマーケットの状況

## 1 利用目的

- ・ 「休憩・トイレ」, 「買物・食事」が大半
- ・ この分野でどう特徴づけるかが重要なポイント

## 2 来客者居住地

- ・ 地元自治体あるいはその近くが半数以上
- ・ 車の移動時間で1時間程度が主な客層

## 3 利用頻度

- ・ リピーターが7～8割 通りすがりではなく道の駅目当て
- ・ リピーターを如何に獲得するか, 離さないかが重要

## 4 年齢層

- ・ 50代以上が5～7割
- ・ この年齢層の満足度, 期待度にどう応えられるか

## 5 購入額

- ・ 一人あたり1,100～1,200円程度
- ・ 多くの人を呼び込み薄利多売で経営している

## 6 満足/不満要因

- ・ 満足/不満要因は「地元特産品の豊富さと値段」
- ・ 店舗, トイレの清潔さも関心が高い
- 地域食材のオリジナル料理, 土産物への期待も大きい

# 18. 新規参入者としての基本戦略

## 1 基本戦略

### 【1】“差別化”戦略

- ・新規参入者としては、低価格化では勝てる要素が少ない
- ・全ての面で、徹底した“差別化戦略”をとる必要がある
- ・「盛岡」らしさを前面に出し、特徴ある道の駅とする必要がある

### 【2】“ニッチ”戦略（隙間戦略・集中戦略）

- ・他の道の駅にない、新しく真似されにくい商品・サービスを提供

## 2 特色ある道の駅をどうつくるか

- ・具体的な戦略は、専門的知識や経験を踏まえて策定する必要がある  
（対応策）
  - (1) 多くの道の駅を手掛けているアドバイザー等の支援
  - (2) 将来の運営候補者を早期に選定し計画初期段階から参画

# 19. ターゲットとする客層（1）

## 1 ターゲット

### 【1】国道4号ドライバー・同乗者

- ・平成27年4月調査 11,600台/日
- ・国道4号道の駅空白エリア「南4.7km、北1.6km」
- ・旧国道4号交通量 7,230台/日も取り込む  
(合計約19,000台)

### 【2】車で1時間以内の範囲の居住者

- ・地域住民12,000人, 盛岡市民30万人,  
半径10km圏人口 5万人
- ・近隣・広域居住者
- ・メインターゲットは盛岡市内（都市部）の居住者（リピーター）

## 20. ターゲットとする客層（2）

### 2 より特徴ある戦略・市場開拓

#### 【1】更なるターゲットのフォーカス

- ・道の駅の主要利用年齢層 50代以上
- ・買物や小旅行先の決定は主に女性（旅行代理店等調べ）  
→ 50代以上（主に女性）に訴求する取組

#### 【2】子育て世代，20～30代若年層の開拓

- ・従来の道の駅の主たる利用者を新たな顧客として開拓
- ・ベビーコーナー・妊婦優先駐車スペース・キッズコーナーの設置等により子育て世代を支援・応援する取組など

#### 【3】初期段階では市民をメインターゲットとする

- ・初期段階では市民等の交流の場・賑わいの場づくりを進め、道の駅を盛岡・玉山の新たな魅力の創出拠点とする取組を進める
- ・創出した魅力を活用し、観光客や地域外の人々を呼び込む

## 21. 導入する機能（必須機能）

（視点1）国交省が示す機能

（視点2）利用者視点から次の機能は必須

### 1 休憩機能

- ① 駐車場
- ② トイレ（清潔感+α）
- ③ 休憩・展望施設

### 2 情報発信機能

- ① 道路情報
- ② 地域の観光情報

### 3 地域連携機能

- ① 産直（友好都市等との連携）
- ② 郷土料理等のフードコート
- ③ 特産品・土産品売場

## 22. 導入する機能（任意機能）

（視点3）地方創生的手段として課題解決

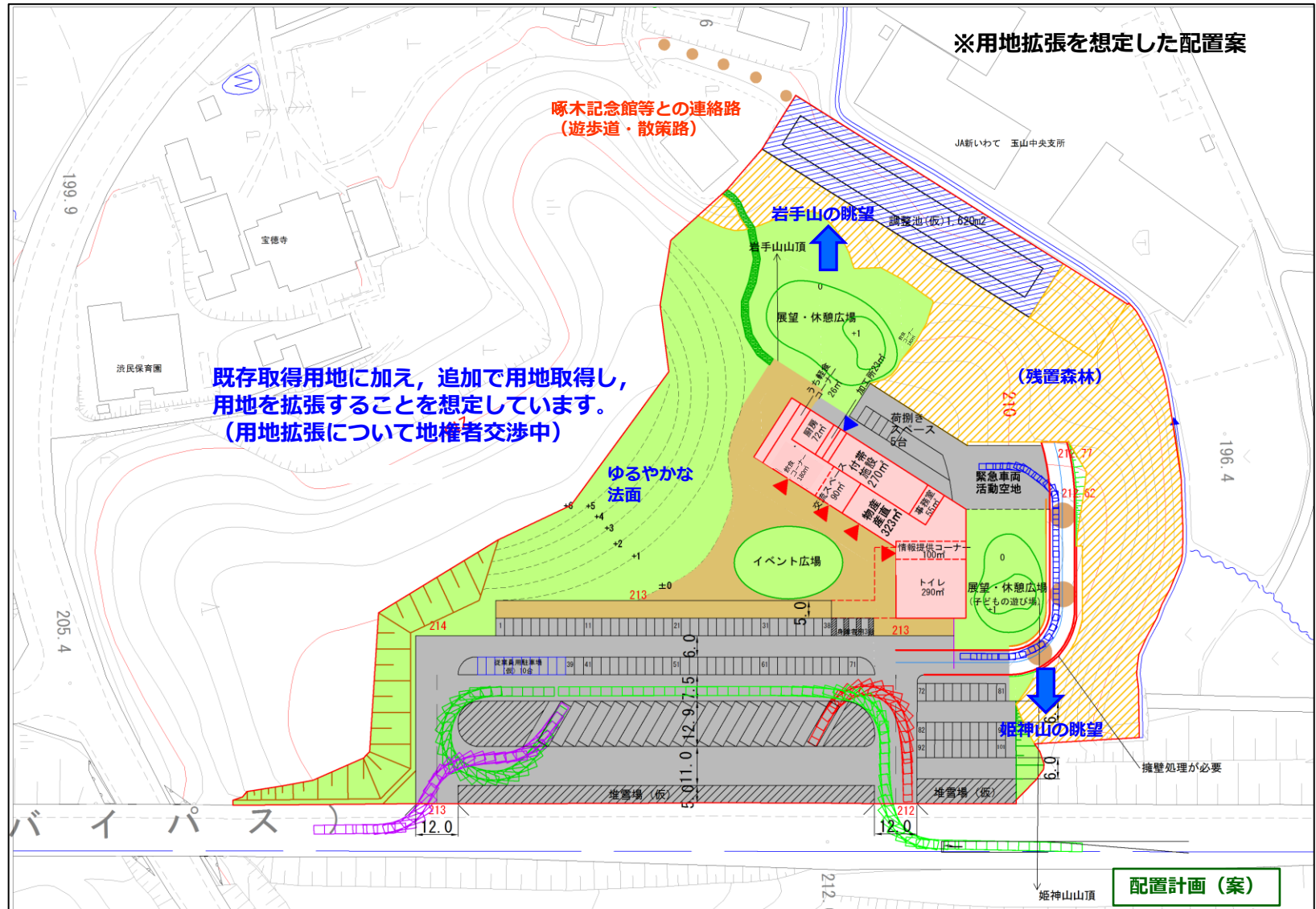
（視点4）差別化・ニッチ戦略から次の機能を検討

今後、管理運営予定者等  
と整備内容の検討を進める

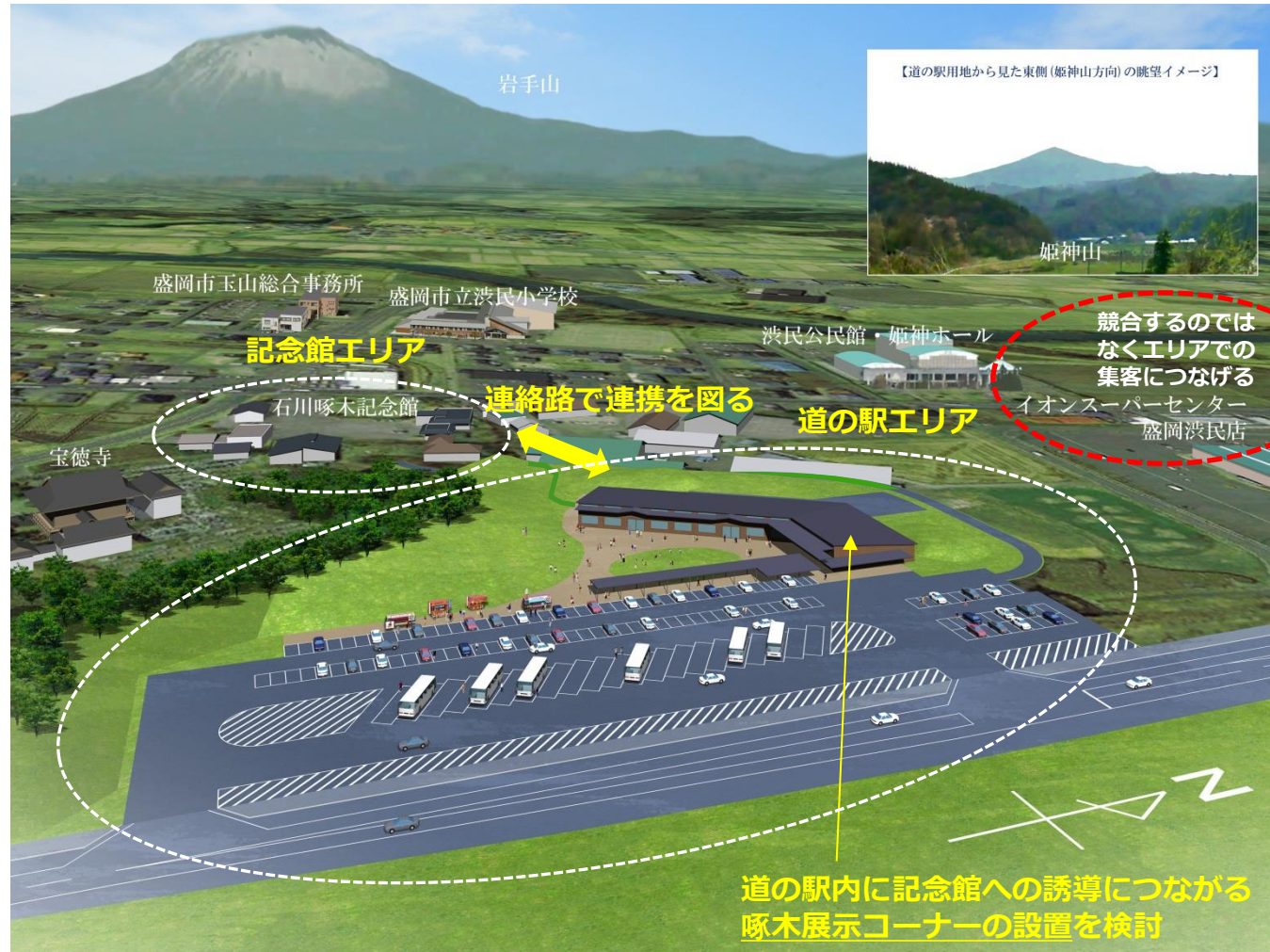
No.	機能	内容
1	若者定住・UIターン機能	起業・就業(事業継承)支援, チャレンジショップ°, 貸工房
2	石川啄木を感じられる機能	啄木ゆかりの飲食, イベント, 記念館誘導に繋げるミニ展示, 回遊性向上施設(連絡路や散策路), インタラク
3	関係人口拡大のための機能	わくわくする面白い場所づくり(週末コンサート, コミュニティ移住)
4	女性・障がい者・高齢者の活躍の場の創出機能	女性等の雇用創出, 託児所, 子育てサロン, 高齢者サロン, デイサービスの設置等
5	文化発信・交流スペース機能	イベント広場・ステージ, ライブ, 交流スペース, 地元商店アンテナショップ°, 健康相談, 軽トラ市, マルシェ(地域市場), 地域コンシェルジュ, ドッグラン, サイクリング・バイクツーリング対応
6	効果的・戦略的情報発信機能	地方で豊かな暮らしや夢を実現したいと考えている人の琴線に触れる情報を積極的に発信
7	子連れで楽しめる空間づくり	ベビー・キッズコーナー, 子育て世代のニーズに合う家族の遊び場(遊具, リラ遊び, ワカギ釣, ホールランド社, ホルダリング, ピクニック, バーベキュー等), 家族農園(地元農家指導あり付), 各種体験(啄木文学・短歌体験, パン・ピザ焼, そば打ち等)
8	次世代を担う人材育成機能	チャレンジショップ°, 貸工房, 伝統芸能保存継承, 経営参画など
9	メインターゲットの琴線に触れる雰囲気・機能	50代以上女性が好むもの・感動するもの(景観, 花, ルーブ, アロマ, スーツ・本格ラーメン, アートビル, 音楽, 市産材等)
10	名誉駅長	地元出身の著名人等を名誉駅長に委嘱



# 23. 道の駅配置計画イメージ (1)



# 24. 道の駅配置計画イメージ (2)



## 25. 概算事業費 (現時点)

### 1 概算事業費

概算事業費 約13億600万円(税込)

#### 【内訳】

土木工事費	約 3 億6,800万円
建築工事費	約 7 億2,100万円
設計・調査費	約 1 億2,000万円
消費税等	約 9,700万円

※1 基本計画 (案) 時点での盛岡市としての試算額

※2 税率8%

※3 国土交通省分を含む (整備内容や負担割合等は未定)

※4 用地費含まず

## 26. 事業手法・運営主体（1）

### 【道の駅の目的】

「自らが有する**魅力を発信**することにより、  
地域住民も含め**多くの人々が交流**し、  
**地域経済を活性化**し、  
**将来にわたり持続可能な地域を創る**」

この達成に向けて、道の駅づくりやその後の運営には、  
**地域に内在する多様な力と主体が結集**し、  
**自発的・自立的に参画する取組**が求められ、  
その取組こそが**地域の人材育成に資する**もので、  
**地方創生に繋がる**ものと考えています。

## 27. 事業手法・運営主体（2）

### 1 運営候補者

地域の魅力を生かした魅力ある道の駅とするため  
地元（盛岡）を中心に経営参画希望者を早期に公募し、  
運営準備組織を設立することを想定しています。

### 2 効果的・効率的な施設整備と運営

PPP方式（官民連携）による事業実施とすることを  
想定しています。

- (1) 設計段階から、運営準備組織の創意工夫を取り入れ、  
市が整備を行います。
- (2) 開業後は指定管理者制度により管理運営を行います。

## 28. 事業手法・運営主体（3）

### 3 運営団体

- (1) 人材育成の点から「熱意のある人」，  
「ふるさとに想いのある人」などの参画も検討します。
- (2) 多くの市民に自分たちの道の駅であるという意識を持っていただけるよう，道の駅の運営に参加できる仕組みを検討します。

### 4 サウンディング調査

より多くの創意工夫を取り入れることや，より広く参画希望者を募るため，運営参画希望者公募前にサウンディング調査（道の駅事業に興味のある方との対話・提案募集調査）を実施し，事業手法の調整や事業参画者・運営参画者等の公募に繋げたいと考えています。

# 29. 事業スケジュール

## 道の駅設置事業想定スケジュール

年度	公設民営・指定管理者制度
平成30年度（2018）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画案調整（基本計画策定）</li> <li>・ 整備方針検討</li> <li>・ <u>管理運営候補者公募準備・着手</u></li> </ul>
平成31年度（2019）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本設計（用地取得準備含む）等</li> <li>・ 管理運営候補者公募</li> <li>・ 道の駅準備運営協議会設立</li> <li>・ 特産品開発等着手</li> </ul>
平成32年度（2020）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施設計（用地取得関係含む）等</li> <li>・ 管理運営準備</li> <li>・ 産直出荷者組織設立</li> </ul>
平成33年度（2021）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備工事</li> <li>・ 管理運営準備</li> <li>・ 指定管理手続準備等</li> </ul>
平成34年度（2022）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備工事</li> <li>・ 指定管理手続等</li> </ul>
平成35年度（2023）	<p style="text-align: center;"><b>供用開始</b></p>

## 30. 最後に

### サウンディング型市場調査等へのご参加のお願い

12月からサウンディング型市場調査を実施したいと考えています。

詳細は、盛岡市ホームページ上に掲載する予定としていますが、まずはお話をさせていただくところからだと考えていますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

一緒に、盛岡を元気にする道の駅をつくりませんか

<道の駅事業の説明をお聞きいただき、ありがとうございました>